

WatchGuard XTM<u>初期設定</u>マニュアル

第2版 2014年8月15日

対象バージョン 11.7 - 11.9



はじめに

事前キッティングされる際、下記の流れ作業にて進める必要があります。

ライセンス登録



初期化作業



ファームウェア(Fireware XTM OS)アップグレード作業



テンプレートコンフィグファイルの適用



製品登録



STEP 1

- ✓ http://www.watchguard.com/ にアクセス
- ✓ 画面右上「Log In」をクリック
- ✓ 「1.STEP2」で設定したメールアドレスとパスワードでログイン

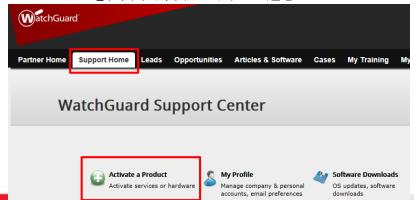


WatchGuard Account Access ユーザー名: パスワード: Forgot Password? New user? Create an account サインイン

製品登録

STEP2

- ✓ ログイン後、Support HomeからActivate a Productにアクセス
- ✓ シリアル番号をハイフン(-)も含め入力 ※シリアル番号は製品のラベルに記載の13桁の英数字
- ✓ CONTINUEをクリックし、次のステップへ進む



Enter Serial Number or License Key

- To activate a new device, type the serial number exactly as it appears (include any hyphens).
 You can find the serial number on a label on your device or on the fulfillment email for your virtual device.
- To activate an add-on license, service, or renewal, type the license key from your fulfillment email or online store receipt.

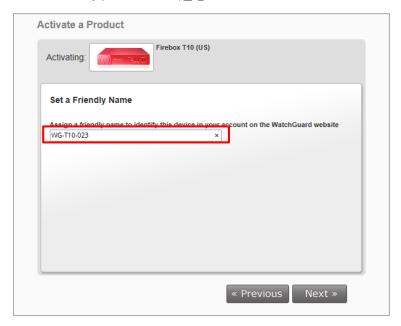
D0FA02811332	
CONTINUE	



製品登録2

STEP 3

- ✓ 入力済シリアル番号から該当製品型番が表示
- ✓ 製品にわかりやすい名前をつける→デバイスを簡単に区別できるよう分かりやすい名前をつけることが可能。使用できる文字数は20文字まで
- ✓ NEXTで次のページへ進む



STEP4

- ✓ 30日間、試用したいUTMの機能があれば、チェックを入れる
- ✓ Nextで次のページへ進む

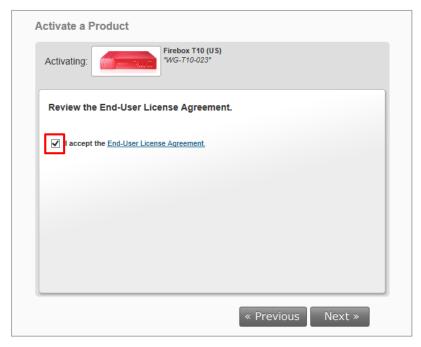




製品登録3

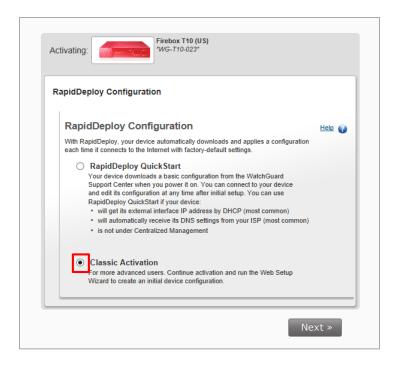
STEP5

- ✓ <u>End-User License Agreement</u> をご確認の上、同意される場合は
- ✓ チェックボックスにチェックの上、Nextで次に進む。



STEP6

- ✓ Classic Activationにチェックを入れる
- ✓ Nextで次のページへ進む



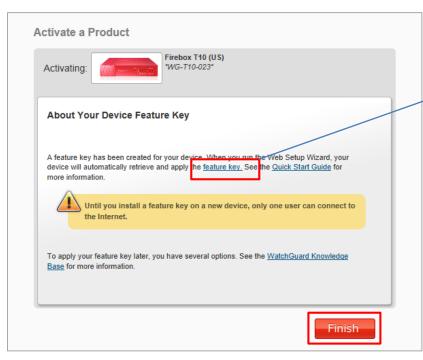


STEP7

製品登録4

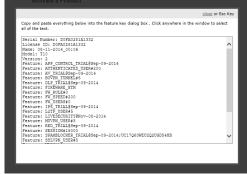
✓ Feature Key をクリックしKeyを取得(取得したFeature Keyはコピーし、個別で保存して下さい。製品本体を起動させます)
※取得したFeature Key の使用方法は別紙でご案内

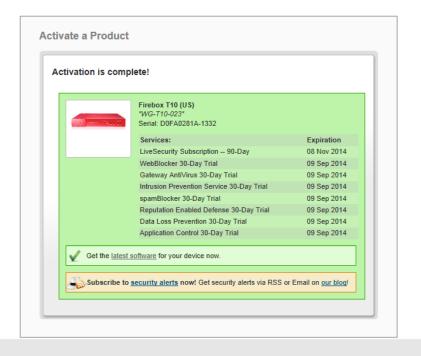
✓ Finishで次の画面に進む



STEP8

- ✓ Activation is complete!WatchGuardデータベースに製品情報が登録されました。
- ◆ 各ライセンスの有効期限をご確認ください。登録する機器が 他にある場合は、Activate Moreクリックし、「2.STEP2」に戻る







- •初期化
- アップグレード







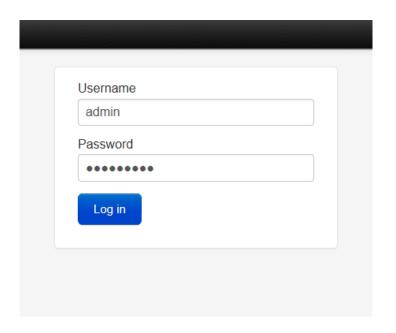
XTMの初期IPアドレスは10.0.1.1 /24 eth1にケーブルを接続して下さい

PCのIPアドレスを10.0.1.2 /24にしてください、そしてXTMのeth1ポートとケーブルで接続して下さい。

- 1. XTM本体を箱から出し、PCとXTM本体のeth1をケーブルで接続
- 2. PCのIPアドレスを10.0.1.2 /24にして下さい
- 3. ブラウザを開いてhttps://10.0.1.1:8080/に接続
- 4. ログイン画面が表示されます。



①https://10.0.1.1:8080/にブラウザで接続ユーザ名: admin パスワード: readwrite ログイン後、初期セットアップウィザードが起動します。英語表示となっている場合は、画面右上にあるプルダウンメニューより"日本語"を選択して下さい。



基本設定2

②ウィザードの初期画面です。 "新しいデバイスの構成を作成します"を選択して[次へ]で進みます。





XTM へようこそ > 構成 > アクティベーション > 完了

③ライセンス使用許諾に<mark>同意</mark>して(チェックを入れる)[次へ]進みます。



< 戻る(B)

次へ>

基本設定3

④外部インターフェースの指定を行います。ただし、後の手順にて外部インターフェースの種類は設定を行うので、当画面ではデフォルトである"DHCP"が選択された状態にて[次へ]進んでください。





⑤外部インターフェースのDHCP詳細設定画面となりますが、デフォルトのまま[次へ]進みます。

基本設定4

⑥DNS及びWINSの詳細設定画面となりますが、デフォルト(空欄のまま)のまま[次へ]進みます。

XTM へようこそ > 椿成 > アクティベーション > 完了
DNSサーバーおよびWINSサーバーの構成
Fireware XTM の機能の中には、Windows Internet Name Server (WINS) および Domain Name System (DNS) のサーバーの IP アドレスを要求するものがあります。これらのサーバーへのア クセスは、Firebox の信頼済みインターフェイスから行える必要があり、次の目的で使用されます:
* IPSec VPN に対して IP アドレスへの名前解決を提供し、spamBlocker、Gateway AV、お よび IPS 機能が正しく動作するように、XTM デバイスはここに示す DNS サーバーを使用します。
* WINS の入力内容および DNS の入力内容は、信頼済みネットワークまたは任意ネットワーク 上の DHCP クライアントや、Mobile VPN ユーザーが DNS クエリを解決するために使用されます。
Domain Name
DNS+-/%-
WINSサーバー
(<戻る(B) (次へ >
<u>その他の情報</u>

(N) atchGuard

⑦LAN側インターフェースのIPアドレスを指定します。
10.0.1.1 /24が登録されているのを確認して下さい(他のIPアドレスが入力されていた場合は変更して下さい)。また、DCHPサーバ機能が有効(チェックが入っていた場合)となっていたら無効(チェックを外す)にして下さい。その後、[次へ]進みます。



基本設定5

- ⑧XTMに接続する場合(管理画面)のパスワードを設定します。XTMは2種類のパスワードを定義する必要があります。
- ・読込用 設定を参照する際に必要なパスワード
- ・書込用 設定を保存する際に必要なパスワード 登録が完了したら「次へ」進みます。

XTM へようこそ > 構成 > アクティベーション > 完了
デバイス用のパスフレーズを作成します
デバイスは 2 つの組み込みユーザー アカウントを持ちます:
管理者 は読み書きの権限を持ちます。 ステータスは読み取り専用の権限を持ちます。
パスフレーズを入力して各ア>カウントで使用します。 それぞれのパスフレーズは 8 ~ 32 文字からなる必要があります。
ユーザー名 status (読み取り専用)
パスフレーズ *******
パスフレーズの確認 ******
ユーザー名 admin (読み書き)
パスフレーズ *********
パスフレーズの確認 *******
< 戻る(B) 次へ >
その他の情報



⑨マネージメント用の設定画面となりますが、デフォルト (チェックが外れている状態)のまま[次へ]進みます。

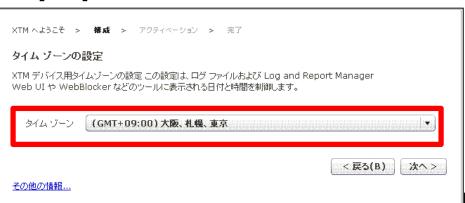
XTM へようこそ > 椿成 > アクティベーション > 完了
リモート管理を有効にします。
🔤 このデバイスのリモート コンピュータからの管理を許可する
リモート ホストIPアドレス
Web Setup Wizard が自動的コ"WatchGuard"と呼ばれるポリシーを作成します。 離れた場所(信頼済みや任意のネットワーク上にない、あらゆるコンピュータ)から XTM デバイスを管理する 場合は、ここにリモート IP アドレスを追加してポリシーを変更することができます。
<戻る(B) 次へ>
その他の情報

⑩デバイス名を設定する画面になります。モデル名を入力して(他は空欄で構いません)[次へ]進みます。

	> アクティベーション > 完了				
デバイスの連絡先情報の追加					
デバイスの連絡先情輸は、複数のデバイスを管理する場合にこのデバイスを特定するのに役に立ちます。					
デバイス名	XTM25				
デバイスの場所					
連絡先					
	(<戻る(B)) (次へ >)				
<u>その他の情報</u>					



⑪プルダウンメニューにてタイムゾーンを日本時間に合わせて[次へ]進みます。



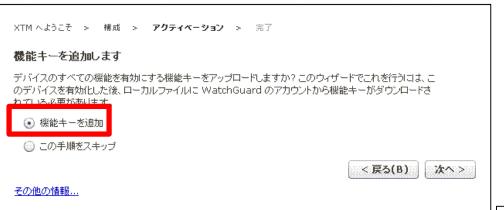
基本設定7

⑩ライセンス登録画面です。"オンラインライセンス登録を スキップします"を選択して先に進んでください。 [次へ]で進まないように注意下さい。

XTM へようこそ >	構成 > アクティベーション	> 完了				
オンラインライセン	ス登録					
構成は完了です。 XTM デバイスの外部インターフェイスがインターネットに接続されている場合、Wizard は 自動的に WatchGuard の Web サイト上でデバイスを起動して、デバイスのすべての機能を有効にする機 能キーをダウンロードおよびインストールします。						
	るためのわかりやすい名前を入力 認証情報を入力します。	コします。 次に、WatchGuard Web サイトのログイ				
わかりやすい名前						
シリアル番号	70AA02B93DD93	WatchGuard は初めてお使いですか?				
ユーザー名		アカウントを作成するにはここをクリックしてください				
パスワード						
オンラインライセンス	ス登録をスキップします。	<戻る(B)				
その他の情報						



③ライセンスを登録します。"機能キーを追加"を選択された状態で[次へ]進みます。



基本設定8

(4)空欄の部分にライセンス情報をコピー&ペーストで 貼り付けてください。貼り付け完了後、[次へ]進みます。

RTM へようこそ > 構成 > アクティベーション > 完了 機能キーを追加します	
下記のボックスに、使用する機能キーを貼り付けてください。	
	< 戻つ(B) Xへ >



⑮ウィザードの最終確認画面になります。下記と似たような画面が表示されます。[次へ]進んでください。



⑩初期化が実行中の画面が下記となります。 10~20秒程度で完了します。

XTM へようこそ > 構成 > アクティベーション > 完了

セットアップが進行中です......

セットアップが進行中です......



⑪下記の画面が表示されたら初期化作業が終了となります。

XTM へようこそ > 構成 > アクティベーション > 完了

セットアップが完了しました。

デバイスの基本構成が完了しました。これにより、アウトバウンドTCP、UDP、および ping トラフィックが許可され、要求していないすべての外部トラフィックがブロックされるようになります。

デバイスのアップデート

ご使用のデバイスを、最新のFireware XTM OSICアップグレードすることをお勧めします。 アップデートをWatchGuard Support Centerで確認

デバイスの管理

WatchGuard Web UIを使用すると、ネットワーク上で任意のブラウザを使用してデバイスを構成および管理できます。 WatchGuard System Managert 、 弊社のWindowsベースの管理ツール スイートで、使用することで、クラスタリング、 詳細レポートの作成、およびその他のエンターブライズ レベルの機能へのアクセスが可能になります。

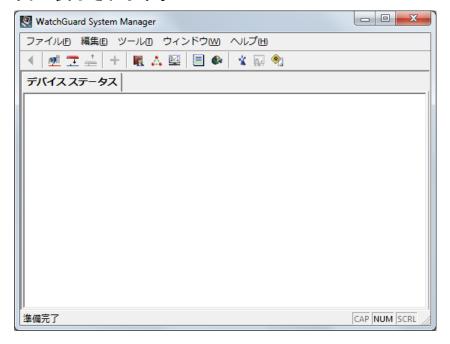
Web UIの起動 WatchGuard System Managerのダウンロード

https://10.0.1.1:8080 WatchGuardサポートセンター

完了



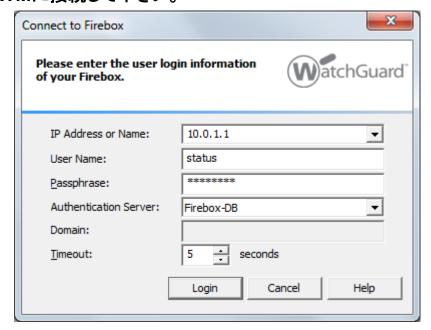
(18PCにインストールされているWatchGuard System Manager (WSM)を起動して下さい。起動すると下記の画面が表示されます。



⑨WSMの[ファイル]⇒[デバイスへ接続]を開くと下記の画面が表示されます。

IPアドレス: 10.0.1.1

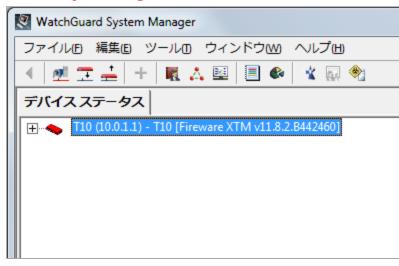
パスワード: 手順®で登録した読込パスワードを入力してXTMに接続して下さい。





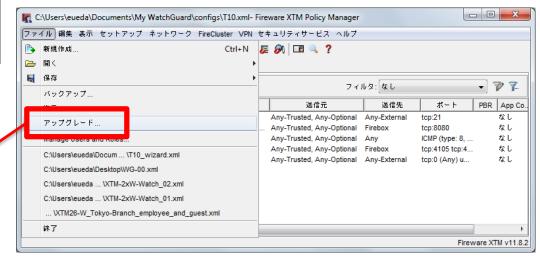
⑩XTMへ正常に接続ができると下記のようにデバイス情報が表示されます。

デバイス情報が表示されている箇所にて右クリックして"Policy Manager"を開いて下さい。



②パスフレーズには初期化手順の手順⑧にて登録した書込用パスワードを登録してOKボタンをクリックして下さい。

⑪Policy Managerの[ファイル]→[アップグレード]にて選択して下さい。その後、ポップアップ画面が表示されます。





②ファームウェアが保存されているディレクトリパスを指定します。例外を除いてはデフォルトで構いません。 [OK]をクリックして下さい。



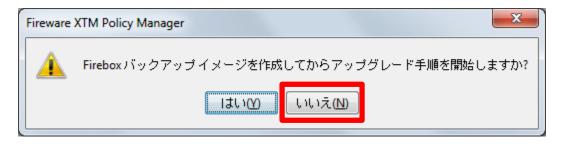
XTMへインストールするファームウェア(Fireware XTMOS)のバージョンが一致していることを確認して下さい。

②アップグレード完了後に再起動する旨のメッセージがポップアップにて表示されます。 [はい]を選択して進んでください。





25バックアップイメージを取得するかのメッセージが表示さ れます。[いいえ]を選択して下さい。デフォルトが[はい]指 定となっておりますので、必ず[いいえ]として下さい。



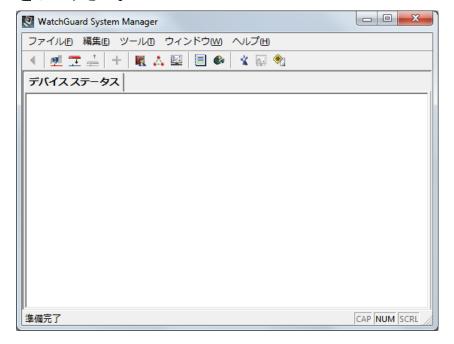
②6下記がアップグレード中の画面となります。アップグレード終 了後、自動的に機器が再起動を実施します。アップグレードを 実行してから再起動が終了するまで約5分程度掛かりますので

ご注意下さい。





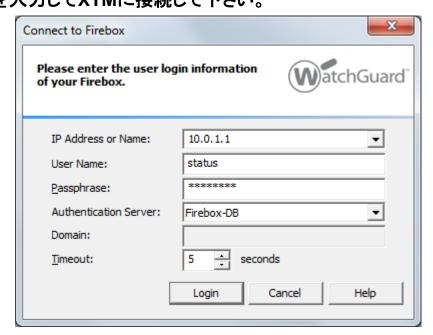
②アップグレードが完了し機器本体が起動したら再度 WSM(WatchGuard System Manager)からXTMへ接続をして下さい。



®WSMの[ファイル]⇒[デバイスへ接続]を開くと下記の画面が表示されます。

IPアドレス: 10.0.1.1

パスワード: 初期化作業の手順®で登録した読込PWを入力してXTMに接続して下さい。





Thank you!!